

## めとする各種政府方針との整合 等

○計画性：目的を実現するための手段・体制が計画として適切か。

- ・ 具体的な目標の明示
- ・ 推進体制の適切性（研究・制度を総括する責任者、産学官の連携等）
- ・ 関係府省との分担、連携
- ・ 類似又は関連する施策等との分担、連携
- ・ 実施方法の妥当性（フィージビリティスタディを行うべきではないか等） 等

○有効性：期待される成果を、期間中に得られる見込みがあるのか。

- ・ 達成すべき目標の妥当性、目標の達成度
- ・ 必要経費、投資計画の妥当性 等

○効率性：期待される成果は、投資に見合うものか。

- ・ 費用対効果
- ・ 期待される成果の科学的、経済的、社会的影響
- ・ 成果の波及性 等

### 3) 結果

科学技術政策担当大臣及び総合科学技術会議有識者議員が、次の区分で施策の優先順位を付けるとともに、その理由や留意事項を明らかにする。

S：特に重要な施策であり、積極的に実施すべきもの

A：重要な施策であり、着実に実施すべきもの

B：問題点等を解決し、効果的、効率的な実施が求められるもの

C：研究内容、計画、推進体制等の見直しが求められるもの

優先順位、その理由及び留意事項については、各府省からの意見を十分聴取した上で、10月中旬を目途に決定し、関係各府省に伝達するとともに原則として公表し、総合科学技術会議に報告する。

独立行政法人、国立大学法人等については、優先度等の検討結果を踏まえて見解をまとめ、当該法人の主務省に伝達、原則として公表し、総合科学技術会議に報告する。

また、優先順位付けの結果を十分に踏まえた予算編成が行われるよう、必要に応じて財政当局と連携を図る等適切な対応を行う。

## 別表

### 【ライフサイエンス】

- (i) 安心・安全で活力ある長寿社会を実現するための疾患の予防・診断・治療技術
- ゲノム、RNA、タンパク質、糖鎖等の構造・機能及びそれらの形成するネットワークの解析とこれに必要な基盤的データベースの整備、その知見に基づく個人の特性に応じた医療と創薬
  - 再生医療・遺伝子治療等を中心とした新しい治療
  - がん、アレルギー・免疫疾患、生活習慣病、プリオン病、新興感染症、骨関節疾患等の予防・診断・治療、要介護状態予防のための研究（リハビリテーションを含む）、医療安全・バイオテロリズムへの対応
  - こころの発達と脳に関する基礎的研究、こころの病気、教育が脳機能に与える影響に関する研究、アルツハイマー等神経疾患等の予防・診断・治療
- (ii) 食料供給力の向上及び食生活の改善に貢献する食料科学・技術並びに有用物質の生産・環境対応に関する技術
- イネ等のポストゲノム研究、食料の安定供給、機能性食品の開発、食品の安心・安全確保
  - 微生物・動植物を用いた有用物質の生産と環境対応技術
- (iii) 萌芽・融合領域の研究及び分析・計測のための先端的技術・機器、先端研究成果を社会に効率よく還元するための研究、制度・体制構築
- 情報通信技術やナノテクノロジー等との融合領域、生命情報科学、システム生物学、細胞シミュレーション技術、バイオイメージング技術、画像診断技術、医療機器、遺伝子・タンパク質等の分析・計測のための先端的技術・機器（試薬、情報処理技術を含む）
  - 基礎研究の臨床への橋渡し研究・治験等の臨床研究
  - 医薬品・医療・医療機器・食品・遺伝子組換え生物のリスク評価等
  - 研究開発の基礎となる生物遺伝資源の整備



## 【情報通信】

### (i) ネットワークがすみずみまで行き渡った社会への技術

- 情報家電、センサー等多種多様で膨大な機器・端末の相互接続・運用・制御技術、光ネットワークや無線等による高信頼な超高速モバイルインターネットシステムを実現する技術
- 高機能・低消費電力の半導体素子、平面画像表示装置、記録・記憶装置等の基盤的技術
- インターネットの信頼性強化に資する安全性（セキュリティ）技術、ソフトウェアの信頼性・生産性向上等技術、状況認識技術、情報格差解消等（ヒューマンインターフェース）技術、情報蓄積・加工・検索技術、コンテンツ技術、分散コンピュータ等による高信頼サービス提供技術

### (ii) 次世代の突破口、新産業の種となる情報通信技術

- 量子工学技術、生体機能等の新しい原理・技術の活用
- ロボット、ナノ技術、生命科学、宇宙通信等との融合領域

### (iii) 研究開発基盤技術

- 分散する計算機資源を高速回線で結び、高い計算能力を確保するネットワークシステム及び超高速ネットワーク技術
- 自然現象等の複雑な現象をコンピュータ上で模擬する手法である計算科学技術

## 【環境】

### (i) 地球温暖化

- 省エネルギー技術、新エネルギー技術、二酸化炭素の分離・回収・固定・隔離・再利用技術、森林等生態系による二酸化炭素吸収強化技術、二酸化炭素以外の温室効果ガス排出抑制技術
- 温暖化総合モニタリング、高度な気候変動予測技術、温暖化影響評価・抑制政策、研究情報システム

### (ii) ゴミゼロ型・資源循環型技術

- 循環型社会形成推進シナリオ、研究情報システム
- 生産・消費両面での廃棄物発生抑制技術、資源循環システム化技術、リサイクル施設等の安全対策

### (iii) 自然共生型流域圏・都市再生技術